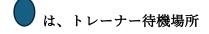
チームトレーナー配置について

- 1 本大会は、試合中に限り、チームトレーナーがフロア面(コントロールエリア外)に入ることができる。
 - ① チームにつき1名、チームトレーナーを申請することができる。
 - ② 申請方法は専用の申請用紙を事前にデータで提出し、代表者会議の受付で原本を提出する。
 - ③ 大会が始まってからの申請や、申請後の変更は認めない。
 - ④ 該当試合の前に所定の場所に置かれたビブスを着用し、指定された場所に座る。 ※AD を必ず身につけておくこと。
 - ⑤ ビブスを着用しなければ、コート面に入ることはできない。
 - ⑥ 試合終了後は、速やかにビブスを【所定の場所】に返却する。
 - ※チームトレーナーがいないチームの選手が怪我した際は、長崎県が配置したトレーナーの処置を 受けることができる。(各会場に長崎県バレーボール協会が配置したトレーナーがいます。)
- 2 トレーナーの処置については以下の通りとする。
 - ① 怪我が発生した際、コート主任 (開催地競技部) がその場にいき、状況を把握する。
 - ② コート主任(開催地競技部)より、指示を受け、派遣された医師(看護師)とトレーナーが2人で対応する。
 - ③ 怪我の状況を見て、処置について協議を行い、処置にとりかかる。
 - ④ 怪我の状況を、監督に伝える。
- 3 以下のルールを守り、違反が発覚した際はフロア面に降りることはできなくなる。
 - ①トレーナーは試合中、各コート後方の指定されたチーム席に座ること。
 - ②必要に応じて選手に施術することができるが、施術はフェンス外の施術エリアで行う。
 - ③コントロールエリア内、ウォーミングアップゾーンにいる選手に施術をすることができない。
 - ④チームへの戦術伝達や応援をすることはできない。
 - ⑤競技役員の指示に従うこと。

4 コートレイアウト図



は、施術エリア

